

2023 年新年号

へそ按腹たより

へそ按腹普及会 日本事務局

新年号



【ご挨拶】

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

第7波からウィルスの力はかなり弱体化したとは言うものの、コロナウィルスは高齢者や持病を持つ人々にとっては命にかかわる脅威です。中国に於いてもゼロコロナ政策をあきらめたようで、これから移動が始まると世界中にウィルスが広がると懸念されています。

時代は変わりました。これからは真の健康が求められる時代です。

巷では情報が氾濫して、混乱させられます。コロナの後遺症とともにワクチンの後遺症も増えています。ワクチン後遺症の見舞金を出す市町村も出てきたと聞きました。

何が本当に良いのかを見抜く力が必要です。まず自分の体質を正しく知ること、弱点を知ることが大切になってきます。体質や弱点はお腹に現れますから、そこをしっかりとつかんで按腹しましょう。新しい年はセミナーを本格的に再開し、多くの人にこの技術をお伝えしたいと願っています。そうしてウィルスと共存できる、ウィルスに負けないしっかりとした免疫力を備えた身体作りを皆様と一緒にしていきたいと願っています。

多くの医療関係者とともに新しい統合医療を形作り、医療産業を興すことを目指していきます。

6センチの肝臓がん

6センチほどあったがんの大きさが2センチほど縮小しました。マーカーもかなり下がりました。正常値を目指しています。

数か月の治療を行い、本来身体が持っている全身を調整していく機能が目覚め始めました。体力も戻り、食欲も出てきました。ご本人はからだに楽になり、食事が美味しく食べ過ぎ~!と言っています。栄養と希望で体力回復に拍車がかかるでしょう。

気付いていない後遺症

最近 何か身体の調子が悪い、倦怠感や精神的に気が乗らない、やる気がなくなった、頭痛や肩こりが激しい、接種を受けた子供の様子がおかしい等々。実はワクチン後遺症が多発しています。

ワクチンを接種した時期は何時なのか？今起きている症状が悪化したのは何時なのか？良く思い返してみてください。

また、コロナの後遺症に悩む方もいらっしゃいます。家族から感染し、コロナ自体は軽症でした。すぐに症状は治まりましたが、後遺症があらわれました。

全く食べられない、眠れない、全身から力が抜けていく、いつ死ぬのか不安でじっとしてられず、ウロウロ歩き回ると訴えていました。

心療内科では重症のうつ病と診断されましたが、ご本人はコロナの後遺症だろうと自覚していて、当院に来院されました。

数回の按腹治療を行い症状は治まりました。主治医はその姿を見て、劇的に改善したと診断したそうです。

今後の予定

YouTube 動画を通して皆さまのご質問やリクエストにお答えしてまいります。ご質問・リクエストをお寄せください。

12月のテーマは「最近の患者様の特徴」です。

急激に症状が悪化する、咽・鼻の炎症、皮膚の炎症、がん特に乳がんが多くみられます。それらをどのようにとらえ、治療するかをお話いたします。

YouTube 会員を募集しております。

YouTube 会員についてのお問い合わせ

個人レッスンを随時行っております。

【へそ按腹普及会（すぎやま按腹鍼灸院内）】

電話：03-6206-2666

メール：heso.ampuku.hukyukai@gmail.com